



令和7年度開校 『富良野市内新設統合校』 に係る学校説明会

とき：令和5年12月6日(水) 15時00分

場所：富良野市立富良野東中学校

富良野市内新設校統合準備委員会

○ これまでの経緯

令和元年 7 月

『富良野市内高等学校の在り方検討会議』設置

- ・ 令和 2 年 3 月 富良野市教育委員会に意見書提出
 - 令和 7 年度に富良野高校と富良野緑峰高校を再編を要望
- ・ 令和 2 年 6 月 『富良野市総合教育会議』
 - 意見書を基本とした要望書の提出を確認
- ・ 令和 2 年 8 月 『富良野圏域広域教育圏振興協議会』
- ・ 令和 2 年 9 月 『富良野圏域連携協議会』
- ・ 令和 3 年 4 月 『富良野市内高等学校再編プロジェクトチーム』設置
- ・ 令和 3 年 8 月 『富良野市内高等学校教育の在り方検討会議』

◎ 令和 4 年 4 月

『富良野市内公立高等学校等の教育環境の整備に関する要望書』を道教委に提出

○ これまでの経緯

令和4年7月 『富良野市内新設校統合準備委員会』設置

- ・ 構成員：校長、教頭、事務長、各校からの準備委員
富良野市教育委員会教育長、市教委教育委員1名
- ・ 目的：新設校の設置に係る諸業務を円滑に推進するため
- ・ 開催：これまで6回開催

令和4年12月 『富良野市内高等学校魅力化推進会議』設置

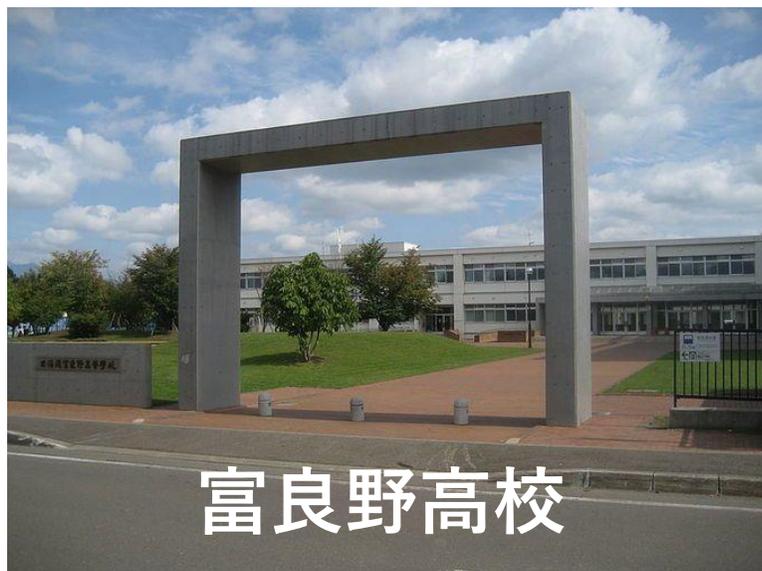
- ・ 構成員：富良野市PTA連合会、高校PTA、富良野市校長会、
富良野市教委、上富良野町教委、中富良野町教委、
南富良野町教委、占冠村教委
- ・ 目的：地域内外から魅力ある高等学校として認められるよう、高等学校の魅力増進への取組の検討及び情報発信するため
- ・ 開催：これまで2回開催

※令和5年2月に『ふらの中学生未来会議』を開催

(中学生や高校生から新設校に期待することを聞き取り)

令和7年度（2025年度） 富良野高校と富良野緑峰高校が統合します

富良野高校に在籍する生徒は、令和7年度に、
富良野緑峰高校の校舎に全員で移ります。



○ 新設校 1 年目（令和 7 年度）のイメージ

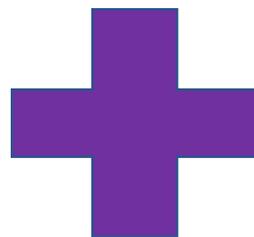
富良野高校

3 年次 3 クラス
2 年次 4 クラス



富良野緑峰高校

3 年生 3 クラス
2 年生 3 クラス



新設校

1 年次 5 クラス

合計 18 クラス

【設置学科】

普通科 3 クラス
農業科 1 クラス
工業科 1 クラス

【課 程】

全日制単位制



○ 新設校 1 年目（令和 7 年度）のイメージ

富良野高校

3 年次 3 クラス



<現在の中学3年生>

富良野高校の3年次生、2年次生は、富良野緑峰高校に「一括転校」しても、富良野高校の教育課程に基づいて学習します。

※ 富良野緑峰高校の教育課程に基づいた学習はしません。また、富良野緑峰高校の生徒とは、学校行事や一部の科目を除き、一緒には学習しません。

※ 学校行事や部活動は一緒に活動します。

令和7年度、新しい高校に入学した1年次生は、新しい高校の教育課程に基づいて学習します。よって、普通科、農業科、工業科の生徒がミックスして学習する機会があります。

（現在の中学2年生から）

18クラス

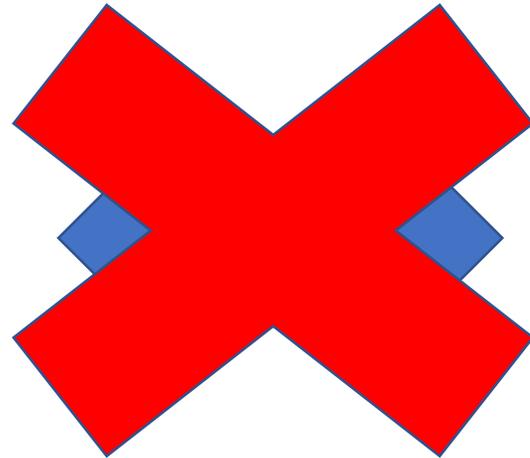
全日制単位制

○ 留意点

令和7年度に『一括転校』しますが、**転科はできません。**

富良野高校  富良野緑峰高校

普通科



農業科

工業科

商業科

(令和7年度から募集停止)

◎ 教育目標

- 1 知性に富み、新しい時代を創造し続ける人の育成
- 2 郷土を愛し、地域・世界で貢献できる人の育成
- 3 豊かな心を養い、多様性を認め合う人の育成

◎ スクール・ミッション

- 1 生徒の興味関心や特性等に応じた学習指導及びキャリア教育を通じて、地域の課題を解決するための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 地域との連携・協働等を通じて、郷土を愛する心を涵養し、地域社会の持続的発展を担う生徒の育成
- 3 特色ある教育活動を通じて、高い志とグローバルな視野をもち、誠実で人間性豊かな生徒の育成

○ 新設校の設置学科

【設置学科】

普通科 3クラス：多様な進路希望や興味関心に対応できる選択科目の設定
(**農業や工業、商業科目の履修が可能**)

農業科 1クラス：『**園芸観光デザイン科**』

スマート農業の他、富良野の基幹産業である農業を「観光」という視点で捉え、「ホスピタリティ」「マネジメント」「情報発信」等の「観光」をデザインする能力を身に付ける。

工業科 1クラス：『**電気情報システム科**』

デジタル化の急激な変化に対応できるITや先端技術（情報工学）の専門知識・スキルの他、プログラミング能力、AI（人工知能）の活用に対しても、幅広く対応できる科目選択の類型を配置し学習する。

【メリット】

- 生徒数が増えることで、互いが切磋琢磨できる学習活動が可能
- 教員の加配を活用したきめ細かな指導の一層の充実
（進路希望に応じた科目の開設、少人数指導、部活動の充実など）
- 地域の支援を一元化し、教育資源を集中的に活用
- 学科横断的な科目選択
（例：普通科の生徒が農業、工業の科目の一部を履修できる）
- 普通科における資格取得の充実
- 部活動の活性化（既存の部活は当面維持）

【デメリット】

- 当面の間、校舎の改修工事を実施
（授業に支障が出ないように要請）
- 両校における伝統の学校行事の見直し
- P T A、同窓会活動の再編
- 登下校時の人流が変化（交通安全指導）
- 1学年5クラスが完成するまで手狭

○ 学習活動について

単位制の特色を最大限に生かす

- ・ 学年による区分を設けず、3年以上在籍し、修得単位数などの条件を満たした年度に卒業が認められます。
- ・ 興味関心や進路希望等に応じて多様な選択科目を開設し、進路目標に合わせて科目を選択することができます。
- ・ 教員数が多くなるため、少人数指導や習熟度別指導が可能となります。

☆ 普通科の生徒が、農業科や工業科の一部の授業の受講が可能

☆ 農業科及び工業科の生徒が、普通科の授業の受講が可能
(職業学科の生徒も大学受験のための学習時間が増える)

◎ 高校は、地元（富良野）で十分と思える学校に！

- 多様な進路希望を実現するための指導体制の充実
- 難関大学への合格・進学実績（進学優先クラス設置）
- 就職等を踏まえた各種資格取得へのサポート体制の充実
- 「コンソーシアム」や「コミュニティー・スクール」の設置
- 外部講師や卒業生、地域の方々による学習機会が豊富
（令和4年度実績：100名以上が来校）
- 部活動やプロジェクト学習で全国・全道大会出場多数
- eスポーツやドローンの導入を検討

◎ 今後の予定

- 学校名についてアンケートの実施
(高校の生徒、保護者、富良野圏域の地域住民)
- 制服の検討 (経済的負担の軽減)
(富良野高校制服をベースにマイナーチェンジの予定)
- 校章、校歌の検討
- 教育課程の編成や学校行事の検討
- 施設・設備の設計
- 学校説明会の実施 (今年度10月以降)